

地震リスク評価プログラム EQRES の開発

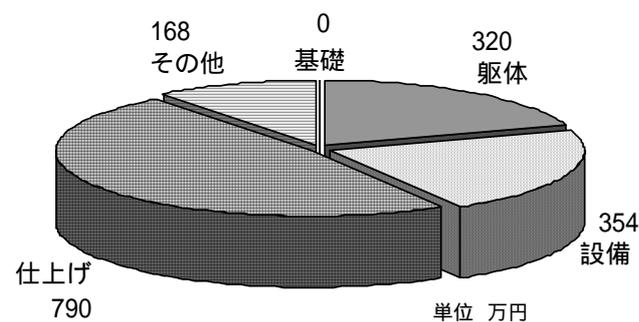
淵上 勝志, 星野 昭雄

Development of “EQRES” for evaluating earthquake risk

Katsushi Fuchigami and Akio Hoshino

要 旨

阪神・淡路大震災では、1981年の建築基準法改正以前に設計された建物に大被害を受けたものが多くみられたことから、旧基準で設計された建物は耐震診断・耐震改修を早急に実施することが望まれている。また、近年不動産証券化の開始に伴い、投資不動産に関する詳細かつ多角的な調査(デュー・デリジェンス)の件数が増加している。このような状況で、建物の耐震性能をよりわかりやすく評価するために、建物の地震による損害額を算出する必要性が生じてきた。そこで、極力簡単な入力のみで地震による建物の被害額を評価するプログラムを開発したのでその概要を報告する。



想定地震での被害評価結果